



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：関税の引き下げと紅海沿岸第2工業港の建設

(12月4 - 10日付現地各紙)

1. 22品目の関税引き下げ(10日付「マディナ」紙)

- (1) サウジ税関は、12月11日から関税引き下げの第2段階として22品目の関税を追加して引き下げる。その中には香水や、殺虫剤が含まれており、その関税は10%から9.8%に引き下げられ、2010年に6.5%になるまで毎年引き下げられる。
- (2) 15品目のプラスチック製品の関税は、15%から14.6%に引き下げられ、2010年に6.5%になるまで毎年引き下げられる。
- (3) 税関は、サウジのWTO加盟初日である2005年2月18日に第1段階の関税引き下げを実施した。サレ・ケレイウイ関税局長は、「関税引き下げは、サウジのWTO加盟承認と関税上限を定めた2005年10月24日付勅令に従ったものである」と語った。

2. 紅海沿岸の第2工業港の建設(4日付「シャルク・ル・アウサト」紙)

- (1) ハーリド・ボウブシト総合港湾局長は、総合港湾局が紅海沿岸における第2工業港建設のために紅海のいくつかの地域を調査していることを明らかにした。同港は中東最大の港であり、サウジへの経済投資呼び込みに成功しているヤンプーのキング・ファハド工業港に新たに追加されるものである。
- (2) 湾岸諸国の港に対するサウジの港の競争力について問われたボウブシト局長は、「サウジ経済は強く、サウジの港は湾岸諸国の港に対し競争力がある。ジッダ港はサウジ港に輸入される物資の65%以上を扱い、紅海に入る2千万個のコンテナーの中の300万個を扱っている」と語った。